

2025 年度 第 5 回運営推進会議議事録

日時：2026 年 1 月 27 日（火）10：30～11：30

場所：グループホーム出雲

参加者：町内会長

民生児童委員

みせんの里

出雲市役所高齢者福祉課

大社高齢者あんしん支援センター

サンキ・ウエルビィ 介護センター出雲（ CM）

サンキ・ウエルビィ 小規模多機能センター出雲（ ）

看護小規模多機能センター（ ・ ）

※グループホーム出雲 施設長→急遽都合により欠席のため、グループホームの
状況・活動報告・身体拘束適正化委員会→書面での報告とする

1. グループホーム・小規模多機能センター・看護小規模多機能センター状況報告

〈グループホーム〉

1 F： 入所者 9 名 （男性 1 名・女性 8 名）

要介護 1	… 2 名	要介護 2	… 3 名	要介護 3	… 3 名
要介護 4	… 0 名	要介護 5	… 1 名	(平均介護度 2.44)	

2 F： 入所者 9 名 （男性 1 名・女性 8 名）

要介護 1	… 0 名	要介護 2	… 1 名	要介護 3	… 5 名
要介護 4	… 2 名	要介護 5	… 1 名	(平均介護度 3.14)	

〈小規模多機能センター出雲〉

登録者 28 名 （男性 9 名・女性 29 名）

要介護 1	… 6 名	要介護 2	… 13 名	要介護 3	… 4 名
要介護 4	… 4 名	要介護 5	… 1 名	(平均介護度 2.32)	

〈看護小規模多機能センター出雲〉

登録者 7 名 （男性 0 名・女性 7 名）

要介護 1	… 1 名	要介護 2	… 4 名	要介護 3	… 0 名
要介護 4	… 2 名	要介護 5	… 0 名	(平均介護度 2.42)	

〈グループホーム状況報告〉

※管理者欠席のため書面での報告とさせていただきます。

〈小規模多機能センター出雲状況報告〉

現在、28名登録。入院での終了者が2名おられた。連泊者が2名。内1名は、グループホームへの入居申し込み中。もう1名は、入居申し込み予定だったが、100歳も超えておられるためこのまま小規模での利用を希望されている。インフルエンザや胃腸炎等の感染者はおられない。

〔事故報告〕について。1月14日に離設事故発生。女性（94歳 要介護1）居室窓から外に出られた。近隣の方が見つけて下さり、連絡をいただいた事で離設事故から15分後には無事にセンターへ戻ってこられた。大きな事故もなく、けが等もなく無事に戻って来られたのは、近隣の方のご協力のおかげである。

〈看護小規模多機能センター出雲〉

12月1日に開所し、現在7名の利用者さまがおられます。

医療依存度の高い方が多く、悪性腫瘍末期の方、糖尿病でインスリン注射をされている方、抗がん剤治療をされている方などが利用されています。看護師、介護士が協力し個別に細やかなケアが提供でき、家族の皆さまにも安心していただけて、何でも相談してもらえるような事業所となるよう日々精進してまいります。

【運営状況についてのご意見・質問など】

《小規模多機能センター出雲》

- ・連泊者について質問ですが、介護度4の方はどこか施設入所を今後も希望されていますか？
(あんしん支援センター)

(小規模) 独居のため、施設入所の申し込みも検討されていましたが現在102歳。食事も摂れなくなっておられるため、このまま小規模で様子を見ていく方向である。

《看護小規模多機能センター出雲》

- ・スタートして間もない中、現状は7名。今後、入ってこられる予定はありますか？
(高齢者福祉課)

(看護多機) 18名を目指している。2月中には12名～13名になる予定。疾患を分かっていないとケアはできない。看護師と介護職との協力が重要である。

2. 小規模多機能センター及び看護小規模多機能センターの活動報告（※GHは書面報告）

〈小規模〉

11月は、「歌って、眺めて、立久恵ツアー」と題し、紅葉狩りへ行ってきました。お天気にも恵まれ外出日和となりました。車いすの方も参加され、久しぶりの外出をととても喜んでおられました。立久恵では、色づいた壮大な山を背にお茶会を行いました。紅葉狩りといえ、やっぱり**もみじ饅頭！**もみじ饅頭と甘酒で心も体もほっこりされました。利用者さま同士会話も弾み、「いや～昔、町内会の行事でここへ来たことがあったな～。何年ぶりに来たわ」と懐かしんでおられる方もいらっしゃいました。スタッフのウクレレ演奏に合わせながら、気持ちよく歌を口ずさんでおられる方、吊り橋をスタッフと一緒に渡り「きゃー怖いわぁ」と大笑いされている方など、皆さまの楽しそうな表情をたくさん見ることが出来た外出ドライブでした。12月は「みんなで奏でるクリスマス会」と題し、今年も盛大にクリスマス会を行いました。スタッフ間で結成したサンサンバンド♪が中心となり、歌に踊りに大盛り上がりでした。利用者さまとスタッフが一緒に楽しむことができるイベントを今後も計画していきたいと思います。年末には、毎年恒例の門松づくりを利用者さまと一緒に行ないました。本格的に専用の道具を使い、お店に負けないくらい立派な門松が完成しました。

〈看護小規模〉

個々、疾患の重症度が異なるため集団での活動は難しいですが、個別、その日の状態により少集団で少しでも笑顔になっていただけるような時間を提供できるようにしています。お元気な方は、小規模の行事と一緒に参加される事もあり、楽しめる時間を持ちながら過ごされています。今後も、状態に合わせて色々とできる事を考えていきたいと思っております。

〈活動報告についてご意見、ご感想〉

【全体の取り組みについて】

- ・定期のおたよりを地域にも配布されていますが、この取り組みはとてもよいと思います。地域の方に様子を見ていただくのがよいと思います。（町内会長さま）
- ・自分は居宅のケアマネで、自宅で生活されている方を担当していますが、こういったお便りがあることで、とても活用しやすいと感じています。（出雲センター CM）

【小規模の取り組みについて】

- ・いつも、ご縁だよりを楽しみに見させていただいております。（あんしん支援センターさま）
- ・忙しい中で、しっかりやっておられるのが分かります。（町内会長さま）

【看護小規模の取り組みについて】

- ・まだ始まったばかりですが、今後需要は絶対にあると思います。（みせんの里 施設長さま）

3. 身体拘束等適正化委員会について

〔 身体的拘束等適正化委員会会議議事録参照 〕

4. 小規模多機能センター出雲 外部評価

11月の運営推進会議で外部評価を行い、皆さまから頂いたご意見や評価を総括表にまとめ今回、報告いたしました。

5. その他ご意見/ご感想

（町内会長さまより）

- ・地域の行事も年々減ってきています。地域の人口もどんどん減ってきています。とんどさんもなくなり、施設の方に参加してもらえそうな行事が、なくなっています。地域との関わりを持ちながら運営されていくためにも、また、何か参加ができそうな行事があれば、お誘いしますね（町内会長さま）

（民生児童委員さまより）

- ・荒木地区の調査をお願いされているため、施設を利用されている方の住所を教えていただくことは可能でしょうか？→個人情報保護という点で、そこは難しいと思います。

（近隣の方より）

- ・この度の小規模の離設事故の際に、利用者さまを見つけて下さった方よりご相談がありました。今後、今回のように施設から出てしまわれたような方を見つけた場合、どのような対応をすればよいのでしょうか？見つけた時点ですぐにサンキさんに電話をするにしても、電話をする間、家に上がってもらおう…というのでも難しいかなと思います。

（施設）

離設事故は絶対にあってはならない事故です。しかし、このような事が起きてしまう可能性はゼロではなく、今後ももしかすると起こるかもしれません。今回のように近隣の方々のご協力が利用者さまの命を守ることに繋がります。どのような対応をしていけばよいのか、施設の方でも検討してみます。このような相談をして頂けたことに感謝いたします。

次回開催 3 月